2013年10月版

Kabuto

Affid J

アフィード

AFFID-J系 取扱説明書

保存用

ご使用になる前に

この取扱説明書は必ずヘルメットご使用前にお読みください。またお読みの後は、保管してくださいますようお願いいたします。

メットインスペースへの収納について

当製品は車種により「メットインスペース」への収納ができない場合があります。
あしからずご了承ください。

AFFID-J 取扱説明書･インデックス

取扱説明書･インデックス ・・・・・ P-1
部位名称 ・・・・・ P-2

安全･快適にご使用いただくために

ご使用になる前に ・・・・・ P-3･4
PSC･SGマークについて ・・・・・ P-4

あごひもについて

1 あごひもカバーの脱着方法 ・・・・・ P-5
2 あごひもの取扱方法 ・・・・・ P-6

ベンチレーションの空調機能

3 各ベンチレーションの操作方法 ・・・・・ P-7

シールドについて

4 サンシェード･シールドカバーの脱着方法 ・・・・・ P-8･9･10･11･12

内装（インナーパッド･チークパッド）について

5 チークパッドの脱着方法 ・・・・・ P-13
6 インナーパッドの脱着方法 ・・・・・ P-14･15

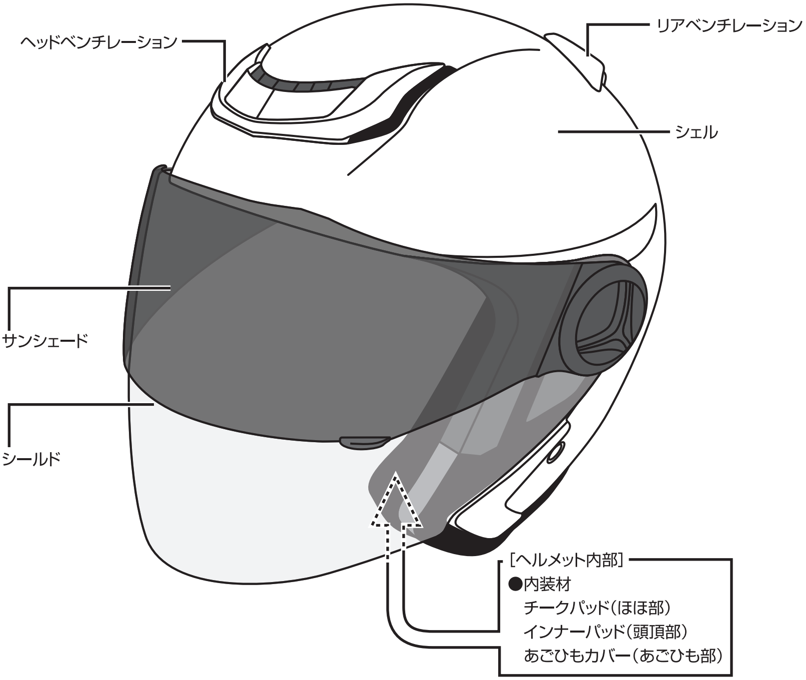
パーツリスト

●AFFID-Jシリーズ･補修パーツ/価格表 ・・・・・ P-17･18

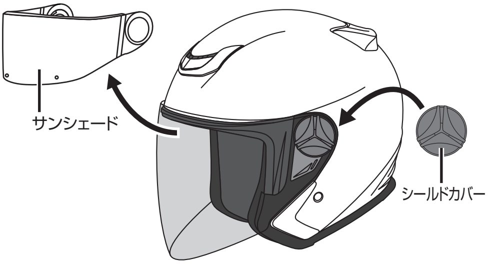
●商品に関するお問い合わせ:

株式会社 オージーケーカブト
〒577-0016 大阪府東大阪市長田西６丁目３-４ **TEL: 06-6747-8031**

おもな部位の名称



※サンシェードを取り外した場合



ご使用になる前に

このたび、当製品をお買い上げ頂き、ありがとうございます。
この取扱説明書はお買い上げいただいたヘルメットの正しい取扱方法について説明してあります。ご使用になる前に必ず最後までお読みください。
またお読みの後は大切に保管してくださいますようお願いいたします。
ヘルメットはいかなる事故にも、絶対という訳ではありません。万一の際に危険の度合いを減らす装備の一つであり、安全の一要素にすぎません。
安全快適なバイクライフを楽しむためにも、以下の注意事項をよくご理解いただきますようお願いいたします。

⚠ 頭に合ったサイズのヘルメットを、お選びください。

大きすぎるヘルメットは、走行中ぐらつき危険です。また小さすぎるヘルメットは、頭を締めつけ痛くなる可能性もあるので、頭によく合ったヘルメットをお選びください。

⚠ あごひもは必ずしっかり締めてください。

あごひもを締めていなかったり、締め方がゆるいと、万一転倒した時などに脱げてしまい、頭を守る事ができず非常に危険です。

⚠ 大きな衝撃を受けたヘルメットは外観上に損傷がなくても、ご使用にならないでください。

ヘルメットはシェル及び衝撃吸収ライナーが潰れることで、衝撃エネルギーを吸収します。大きな衝撃を受けたヘルメットは、既にライナーが潰れている場合が多く、そのまま使用すると、再度衝撃エネルギーを吸収できず非常に危険です。外観にキズ等がなくても、使用しないでください。

⚠ ヘルメットの改造は絶対にしないでください。

ヘルメットに穴を開けたり、内部の衝撃吸収材を削ったり、あごひもなどは絶対に改造したりしないでください。ヘルメット本来の性能が発揮できなくなり非常に危険です。また部品を取り外したまま使用しないでください。

⚠ ヘルメットのお手入れは薄めた中性洗剤でふき取るようにしてください。

ガソリン、シンナー、ベンジン、熱湯（50℃以上）や、塩水等は絶対に使用しないでください。

⚠ ヘルメットを塗りかえる時のご注意

シェル及び衝撃吸収ライナーは、塗料や熱の影響により材質が侵され、衝撃吸収力が低下する場合があります。また、乾燥に50℃以上の熱を必要とする塗料は使用できません。ヘルメットを塗りかえる必要のある場合は専門の業者にご依頼ください。

⚠ ヘルメットは大切に取扱ってください。

ヘルメットは丈夫だからといって、床等に放り投げたり、上に座ったりしないでください。その度に衝撃を吸収するため、衝撃吸収力が低下します。万が一の為に大切に取扱ってください。
また、乗車時での頭を保護する以外の目的には使用しないでください。

⚠ ヘルメットの保管について

ヘルメットは直射日光の当たる車の中や、暖房機のそばなど、高温（50℃以上）の場所に長時間放置しないでください。（ヘルメットに使われている材質が変質して、性能が低下します。）また、落下しやすい、オートバイの上や高所などでの保管はしないでください。

⚠ シールドのお手入れについて

シールドなどの取り付けビスは、定期的に増し締めを行ってください。走行時の振動で取り付けビス等が徐々にゆるむ場合があり、そのまま放置するとシールドやシールドカバーなどの部品が走行中に外れ、重大な事故につながるおそれがあります。

⚠ フルフェイスヘルメット使用上のご注意

フルフェイスをご使用の場合、走行中のヘルメット内はほぼ一定の温度ですが、高速度で移動しているため周辺の環境は常に変化しています。そのため、突然の雨やトンネルに入った直後、峠道など高低差がある場合は、ヘルメット内の温度と周辺との気温差が生じるため、シールドが急激に曇ってしまう場合があります。この様な状況が予想される時は、あらかじめシールド開度の調整や適切なスピードにするなど注意をするようお願いします。
なお、シールドの開閉操作及び、ベンチレーションシャッター操作は、必ず停止した状態で行ってください。走行中の操作は危険です。

⚠ 乗車用ヘルメットの有効期間は、「購入後3年間」です。

ヘルメットは様々な状況下において使用されるために、見た目以上に劣化が進んでいることがあります。このため、SGマークにはヘルメットの耐久性を考慮して、「購入後3年間」と有効期限を定めて、ヘルメットに表示しております。有効期限を過ぎたヘルメットは、事故の際に十分な保護性能を発揮できない場合が多く、正常に使って異常が認められなくても、ご購入後3年以内に交換してください。

PSC・SGマークについて

「PSCマーク」

「P:Product（製品）」、「S:Safety（安全）」、「C:Consumer」の頭文字を略号としてマークで表しています。これは消費生活用製品安全法に基づき製造された製品に表示されるマークで、消費者に対して生命の危険や身体に特に危害に及ぼすおそれが多いと認められる製品を国が「特定製品」として指定していることを意味します。日本国内で販売されるヘルメットは、このマークが表示されていなければ、販売することはできません。

「SGマーク」

SGマークは、製品安全協会が定めたSG基準に適合している製品に表示されるマークです。
またSGマークは、万一ヘルメットに欠陥があり、製品安全協会の定めるSG基準に適合していないために着用者が損害を被った場合に、その損害を賠償するものです。なおこの制度はプロオートバイレースやサーカスなどの特殊な用途に用いている際の負傷や、SG基準が定めるヘルメットの性能を超える強い衝撃を受けたための負傷などは賠償の対象になりません。

（SGマークに関するお問い合わせ先）

〒110-0012 東京都台東区竜泉2-20-2 ミサワホームズ 三ノ輪 2F

製品安全協会 ☎（03）5808-3300（代）

1 あごひもカバーの脱着方法

このヘルメットは、汚れた時などにあごひもカバーを取り外して洗うことが可能です。

●取り外しかた

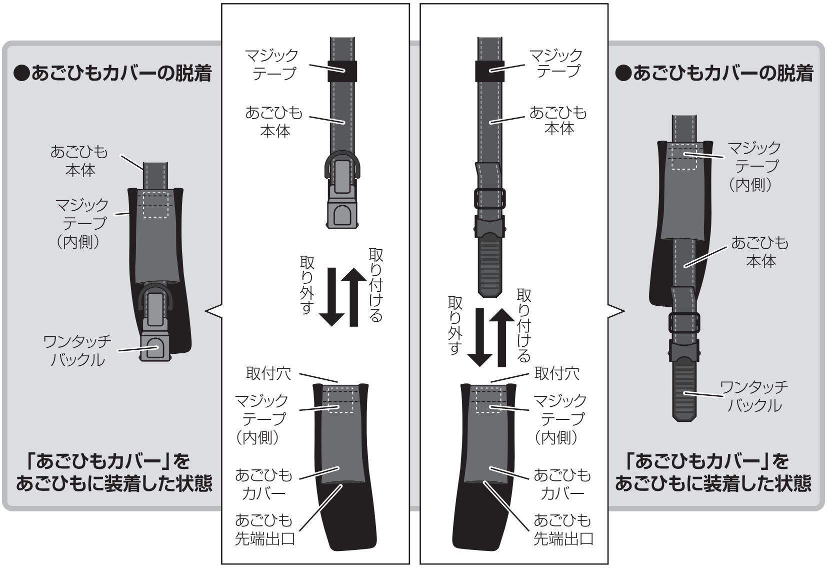
①あごひもの根元にあるマジックテープより「あごひもカバー」のマジックテープを取り外します。

②「あごひもカバー」をあごひも本体より引き抜き、取り外したら完了です。

●取り付けかた

①取り外した逆の手順（あごひもカバーの表裏に注意）で、あごひもカバーの上方より、あごひもを通し、あごひもカバーの穴よりあごひもの先端を出します。
※あごひもカバーは、左右共通部品です。

②最後にあごひもに付いているマジックテープへしっかりあごひもカバーを押し付けてとめれば完了です。



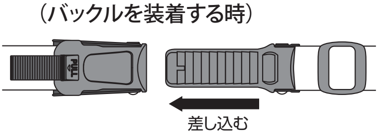
ご注意

●あごひもカバーを取り付ける際は、あごひもカバーの表（レザー部分）・裏（あごに当る生地部分）の方向にご注意ください。

2 あごひもの取り扱いかた

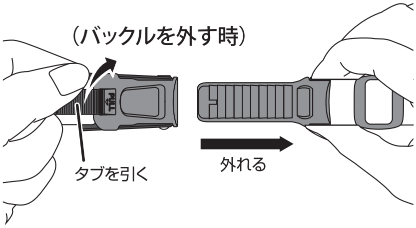
●ワンタッチバックルの脱着

このヘルメットには、あごひもの脱着が簡単にできる「ワンタッチバックル」を採用しております。



⚠警 告

ワンタッチバックルを装着しないでの走行や装着が不完全ですと、万一転倒した際にヘルメットが脱げてしまうおそれがあります。オートバイに乗る前に、確実に締まっているかを確認してから、走行してください。



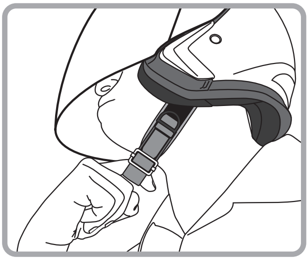
●あごひもの長さ調整

＜適正なあごひもの長さ＞

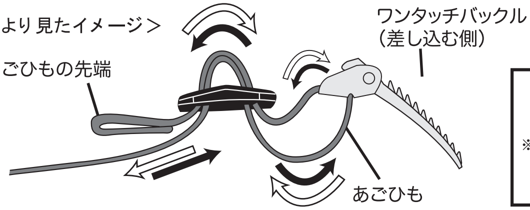
ヘルメットをかぶり、ワンタッチバックルをしっかり締めます。

その際あごひもとのどの間に、人差し指一本入る程度が適正なあごひもの長さと言えます。

このときに、あごひもの長さが合っていない場合は、あごひもの長さ調整を行ってください。



＜真横より見たイメージ＞



➡ 短く するとき

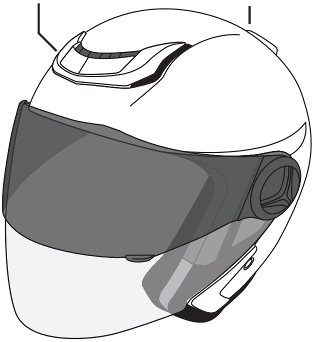
⇨ 長く するとき

※長さ調整を行うときはそれぞれの方向へあごひもを移動させてください。

⚠警 告

ワンタッチバックルをしっかり締めても、あごひもの長さが適正でないと、万一転倒した際にヘルメットが脱げたり、首元が必要以上に絞まったりするおそれがあります。あごひもはヘルメットの重要な部分ですので、慎重かつ正確に調整しましょう。

3 各ベンチレーションの操作方法

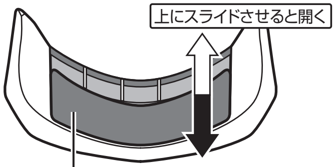


このヘルメットには、ヘルメット内部の温度調整を行うための「ヘッドベンチレーション」、「リアベンチレーション」を装備しています。各ベンチレーションはシャッター付きですので、季節や天候など状況に合わせて開閉することができます。

[ヘッドベンチレーションの開閉操作]

開けるとき　シャッターを 上にスライド させると、エアダクトが開きます。

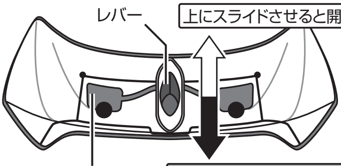
閉じるとき　シャッターを 下にスライド させると、エアダクトが閉じます。



[リアベンチレーションの開閉操作]

開けるとき　レバーを 上にスライド させると、エアダクトが開きます。

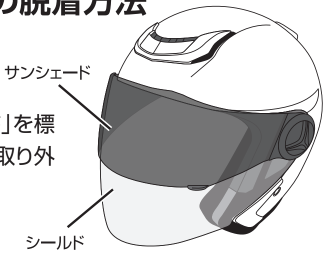
閉じるとき　レバーを 下にスライド させると、エアダクトが閉じます。



⚠警 告

ベンチレーション操作は、必ず停止した状態で行ってください。
走行中の操作は集中力が散漫になり大変危険です。

4 サンシェードとシールドカバーの脱着方法



●サンシェードについて

当製品は、日中のまぶしさを抑える「サンシェード」を標準装備しています。このサンシェードはお好みで取り外しが可能で、取り外した状態でも使用できます。

●サンシェードの開閉角度について

ご 注 意

サンシェードを取り外す際は、必ず当説明書の手順で取り外してください。
無理に引っぱったり、違う手順で取り外すと、サンシェードやその他の部品が破損するおそれがあります。

警 告

- サンシェードは、トンネル走行や夜間および雨天・降雪時など何らかの理由で視界が悪い場合などの状況下では使用しないでください。
- サンシェードは前方から飛来する小石や虫などで必ず傷が付く消耗品です。傷などが気になりはじめたら、交換することをお勧めします。

●サンシェード、シールドの取り外しかた

※取り外しは片側ずつ行います。

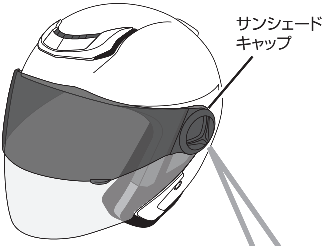
「サンシェード」、「シールド」は別々の部品ですが、1本のビスで固定されているために、取り外しの際は同時に取り外す設計になっています。取り外した部品を紛失しないよう十分注意し、作業を行ってください。

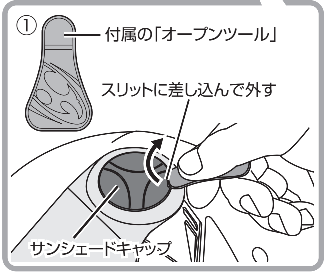
①付属の「オープンツール」をサンシェードキャップにあるスリットに差し込み、サンシェードキャップを取り外します。

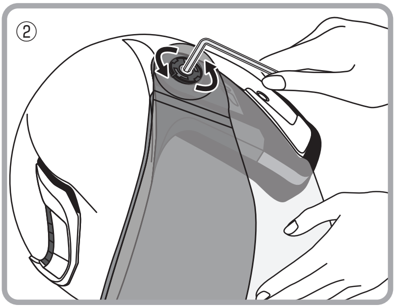
②ヘルメット本体をしっかり持ち、同梱のM5六角レンチを使用して、カラービスを左方向（反時計回り）へ回すと、サンシェード、シールドが同時に取り外せます。

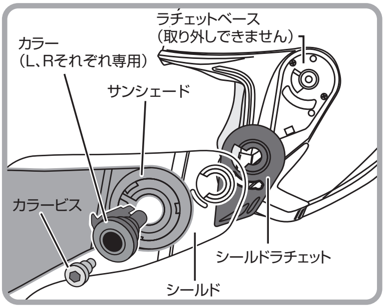
③この作業を左右とも行うと以下の部品が取り外せます。

※サンシェードを使用しない場合は、サンシェードを取り外した状態でご使用いただけます。
（P-12の「シールドカバーについて」を参照）







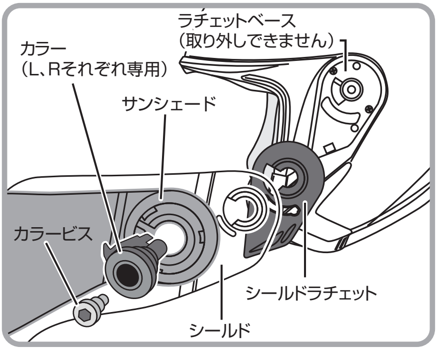


ご 注 意

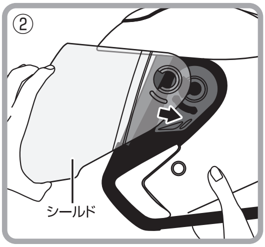
●カラービスを取り外す際は、必ずM5（5mm）六角レンチを使用し、ビスに対して垂直に回すようにしてください。レンチサイズが合っていない場合や、レンチを垂直に回さないとカラービスが破損する場合があります。

●取り外したシールドは、キズが付かないよう慎重に取り扱ってください。シールドにキズが付くと、視界を妨げる原因となります。
また使用しないで保管する場合も、サンシェードにキズが付かないよう十分ご注意のうえ、保管してください。

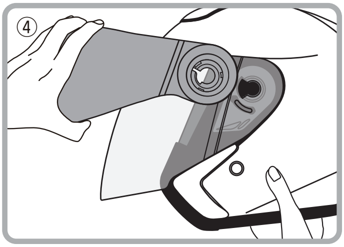
●サンシェード･シールドの取り付けかた ※取り付けは片側ずつ行います。



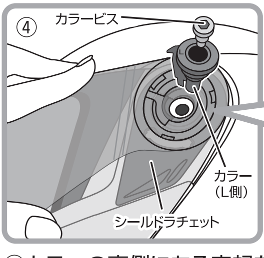
①シールドラチェットを帽体のラチェット取り付け部に合わせます。

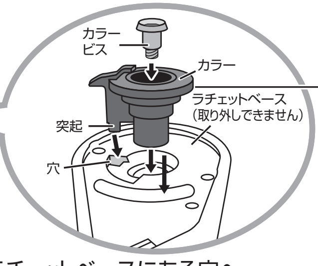


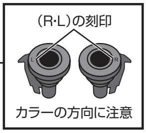
②その上にシールドを全閉状態でかぶせます。



④さらにその上にサンシェードを全閉状態でかぶせます。

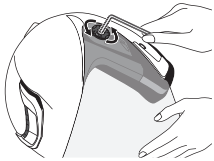






④カラーの裏側にある突起をラチェットベースにある穴へ合わせて押し込みます。

次ページ（P-11）の⑤に続きます

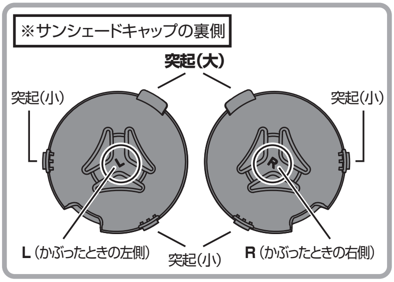


⑤カラーが浮かないように注意しながら同梱のM5六角レンチを使用して、カラービスを右方向(時計回り)へ締めます。

⑥反対側も同じ手順で取り付けます。

ご 注 意

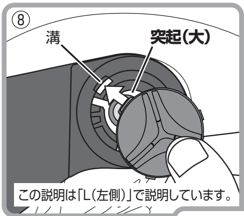
カラービスを締める前に必ずカラーの突起がラチェットベースの穴に入っていることを確認してください。
穴に入っていないままカラービスを締めると、カラーが破損します。



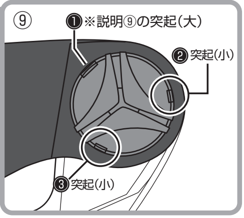
⑦サンシェードキャップの方向を確認します(左:L、右:R)。 またこのとき、3箇所の突起の大きさの違いも確認します。

ご 注 意

サンシェードキャップを取り付ける際は正確に溝に合わせてください。無理に押し込むとサンシェードキャップが破損する場合があります。



⑧最初にサンシェードキャップの**突起(大)**を取付部の図の位置の溝に差し込みます。



⑨突起(大)を差し込んだまま、残りの突起(小)も図⑨の順番に押し込めば取り付け完了です。
※反対側も同じように取り付けてください。

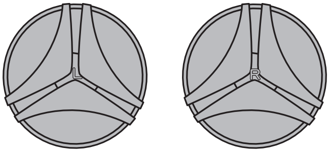
⚠警 告

●サンシェードおよびシールドを取り付けた後は、走行前に必ずサンシェードとシールドの開閉動作が正常に行われるか確認したうえでご使用ください。取り付けが不完全ですと、走行中に脱落するおそれがあり重大な事故等の原因となります。
●サンシェードおよびシールドを取り付けている「カラービス」は定期的に増締めを行ってください。走行時の振動などにより緩んでいる場合があり、そのまま使用を続けると走行中に脱落し、重大な事故につながるおそれがあり大変危険です。

●シールドカバーについて

サンシェードを使用しない場合は、同梱されているシールドカバーを取り付けて使用します。

●シールドカバーの取り付けかた



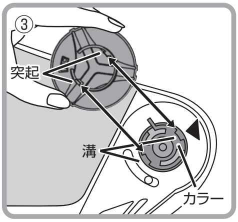
※ヘルメットをかぶった状態でL=左、R=右

①**「サンシェードの取り外しかた」をご覧のうえ、サンシェードを取り外し、サンシェードが無い状態で組み立てます。**

②シールドカバーの左右を確認します。
（シールドカバー裏面にLもしくはRの刻印がありますので、シールドラチェットの刻印と同じ方向で取り付けます）

③シールドカバー裏側の突起をシールドラチェットの溝に合わせます。

④最後に前方向に手のひらで押さえながら軽く止まるまで回し、さらに回すとロックされます。

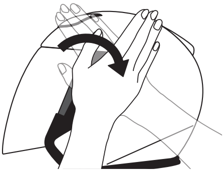


⑤この作業を反対側も同様に行うと、シールドカバーの取り付けが完了です。

⚠警 告

シールドカバーを取り付けた後は、開閉動作が正常に行われるか、走行前に必ず確認したうえでご使用ください。取り付けが不完全ですと、走行中に脱落するおそれがあり重大な事故等の原因となります。

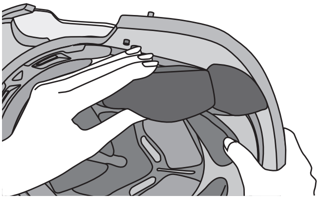
●シールドカバーの取り外しかた



①シールドカバーを手のひらで押さえつけるようにしながら、矢印方向へ回すと取り外せます。

②この作業を反対側も同様に行うと、シールドカバーが完全に取り外せます。

5 チークパッドの脱着方法



このヘルメットは、汗やホコリなどで汚れたとき、チーク（ほほ）パッドを取り外せば、丸ごと洗える「内装脱着システム」を採用しております。また、お持ちのヘルメットサイズと違うサイズのチークパッド(P.18「補修パーツ一覧」を参照)を取り付ける事もできますので、お好みに合わせてサイズフィッティングが可能です。

	S	M	L	XL
厚さ	厚い ◀━━━━━━━━━━━━▶ 薄い			
フィット感	きつい ◀━━━━━━━━━━━━▶ ゆるい			

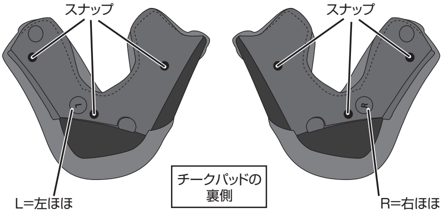
●チークパッドの取り外しかた

チークパッドをしっかりと持ち、取り付けスナップを外し、抜き取れば取り外せます。

ご注意

チークパッドを取り外す際は、無理に引っぱらないで取り付けホックの根元から外すようにしてください。無理に引っ張ると、スナップ部分が破損するおそれがあります。

●チークパッドの取り付けかた



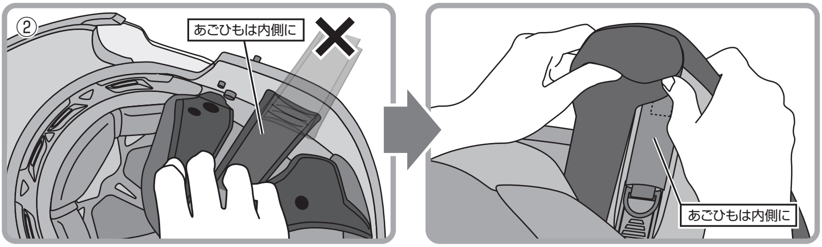
※ヘルメットをかぶった状態で右側=R·左側=Lとなります。

①チークパッドの方向を確認します。

（チークパッド裏面にR·Lの刻印があります）

②チークパッドの両端にある芯材部分を衝撃吸収ライナー（発泡スチロール）とシェルの隙間に差し込みながら、ヘルメット内側にある突起とチークパッド裏側にある3つのスナップを合わせて強く押し込むと取り付けできます。（このときあごひもは内側にしてください）

③この作業を反対側も同様に行うと、チークパッドの取り付けは完了です。



ご注意

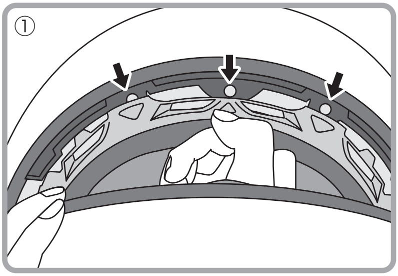
チークパッドが完全に取り付けられていることを確認してから走行してください。
また正しく取り付けられていない場合や取り付けずに走行するのは危険ですのでおやめください。

6 インナーパッドの脱着方法

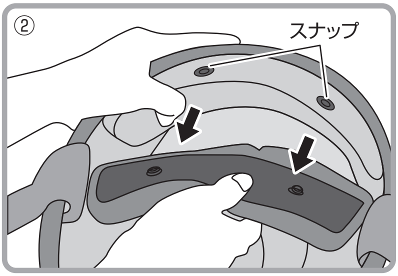
このヘルメットは、汗やホコリなどで汚れたとき、インナーパッドを取り外せば、丸ごと洗える「内装脱着システム」を採用しております。

●インナーパッドの取り外しかた

①図のように、額付近のスナップを下方向に引っぱり、取り外します。



②次に後頭部にある、2箇所のスナップを外せば、インナーパッドを全て取り外せます。

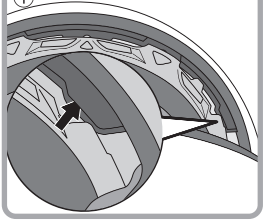


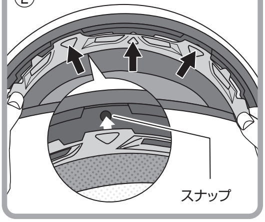
ご注意

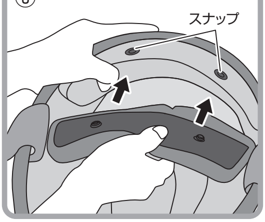
●インナーパッドを引っぱる際、無理な力をかけずに引っぱるようにしてください。無理に引っぱると、インナーパッドが破損するおそれがあります。

●インナーパッドの取り付けかた

①図1のようにこめかみ部分の芯材をはじめに差し込みます。
②図2のように本体にある、3箇所のスナップをそれぞれ押し込みます。
③最後に後頭部にある2箇所のスナップを取り付けると、インナーパッドの取り付けが完了です。

①


②


③


ご 注 意

インナーパッドが確実に取り付けられていないと、走行中にヘルメットがずれる可能性があり、大変危険です。スナップは確実に取り付けてください。
ヘルメットの装着感をより良くするためにも、パッド類の装着は正確に行ないましょう。

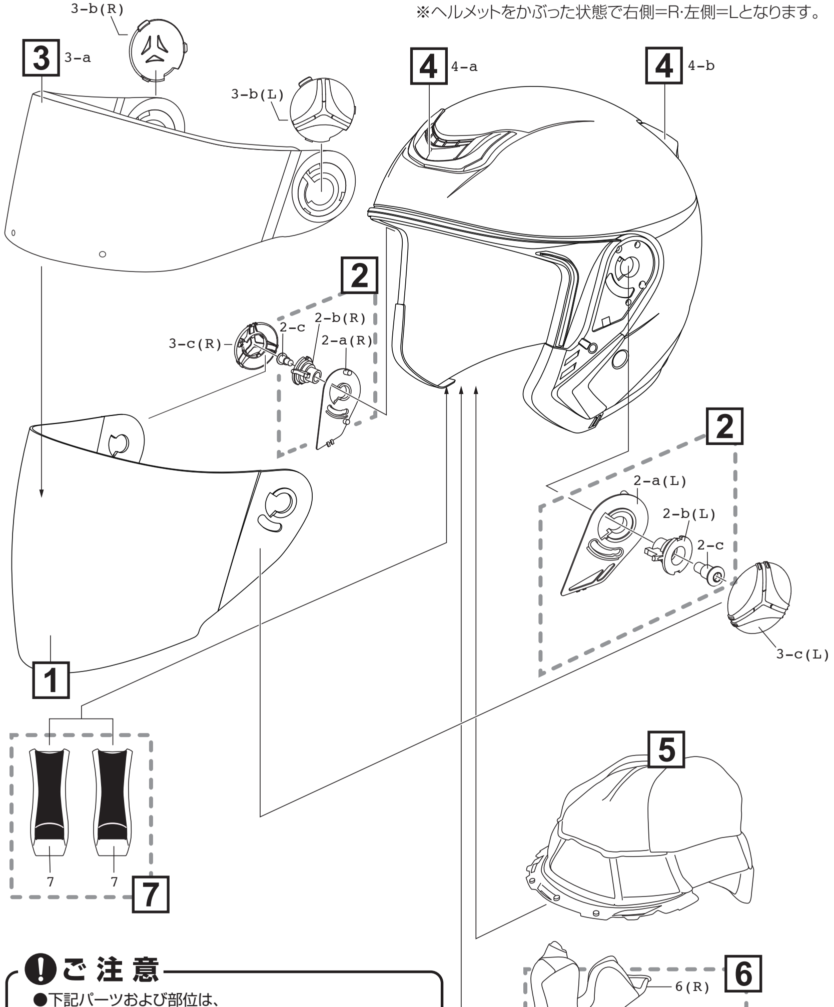
取り外した内装材の洗浄・メンテナンスについて

●取り外した内装パッドを洗たく機で洗う場合は、中性の洗たく用洗剤を使用し、必ず洗たくネットに入れてから洗ってください。また洗たく後は、しっかり水気をきり、直射日光の当たらない風通しの良い場所でかげ干しを行ってください。
●洗たく後、乾燥機など50℃以上になる状況での乾燥は生地が傷むおそれがありますので、絶対におやめください。
●雨天走行後など、パッドが濡れてしまった場合は、そのまま放置せず乾いた布で水気をしっかりふき取ってから、かげ干ししてください。
●各パッドは、"消耗品"です。生地が傷んだりフィット感が悪くなってきたら、パッドの交換をおすすめいたします。

Memo

●AFFID-Jシリーズ 補修パーツリスト

※ヘルメットをかぶった状態で右側=R･左側=Lとなります。



ご 注 意

●下記パーツおよび部位は、
　ヘルメットの性能を保持するため、修理ができません。
　・帽体（シェル）　・衝撃吸収ライナー（本体）
　・あごひも（ワンタッチバックル含む）

●修理の詳細につきましては、弊社までお問い合わせください。

AFFID-Jシリーズ・補修パーツ／価格表

	パーツ名称	パッケージ内容	価格(税抜)
1	TO-J シールド	1: TO-J シールド(標準:クリア) × 1枚	¥3,200
2	VALER シールドラチェットセット	2-a: VALER シールドラチェット(左右) × 1セット	¥500
	AFFID カラーセット	2-b: AFFID カラー(左右) × 1セット	¥200
	VALER カラービスセット	2-c: アルミビス × 2本	¥400
3	AFFID サンシェード	3-a: AFFID サンシェード × 1枚 ※サンシェードキャップ付き	¥3,000
	AFFID サンシェードキャップ	3-b: AFFID サンシェードキャップ(左右) × 1セット	¥400
	AFFID シールドカバーセット	3-c: AFFID シールドカバー(左右) × 1セット	¥400
4	AFFID ヘッドベンチレーション	4-a: AFFID ヘッドベンチレーション × 1個	¥1,000
	VALER リアベンチレーション	4-b: VALER リアベンチレーション × 1個	¥1,000
5	VALER-J インナーパッド	5: VALER-J インナーパッド (S·M·L·XL) × 1個	¥2,500
6	VALER-J チークパッドセット	6: VALER-J チークパッド(左右/S·M·L·XL) × 1セット	¥2,000
7	VALER-J あごひもカバーセット	7: VALER-J あごひもカバー(左右共通) × 1セット	¥1,000

※上記価格表に記載されている価格はすべて税抜き価格となっています。(2013年10月現在)
※上記パーツは、Kabuto製品取扱店にてお買い求めください。
※パーツにカラーが設定されているものに関しては、お買い上げの販売店へご注文の際に、ご希望のカラーをお伝えください。
※製品の性能をさらに向上させるために、材質や仕様、価格等を予告なく変更する場合があります。予めご了承ください。
※パーツの詳細は、弊社Webサイト：www.ogkkabuto.co.jp(検索：Kabuto)でもご覧になれます。

●商品に関するお問い合わせ:

株式会社 オージーケーカブト **TEL: 06-6747-8031**
〒577-0016 大阪府東大阪市長田西 6 丁目 3 - 4

Kabuto

Safety Meets Style

株式会社 オージーケーカブト
〒577-0016 大阪府東大阪市長田西6丁目3-4　TEL:06-6747-8031
WEB: www.ogkkabuto.co.jp Kabuto 検索

2013-OCT-YC